

主要諸元 / 環境性能

タイプ	EX	
駆動方式	FF	
車名・型式	ホンダ・6AA-CV3 ☆	
トランスミッション	電気式無段変速機	
寸法・重量・乗車定員	全長(m)/全幅(m)/全高(m)	4,900/1,860/1,450
	ホイールベース(m)	2,830
	トレッド(m) 前/後	1,590/1,605
	最低地上高(m)	0.130
	車両重量(kg)	1,560
	乗車定員(名)	5
	客室内寸法(m) 長さ/幅/高さ	2.070/1.585/1.155
原動機	原動機型式	LFB-H4
エンジン	エンジン型式	LFB
	エンジン種類・シリンダー数及び配置	水冷直列4気筒横置
	弁機構	DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2
	総排気量(L)	1,993
	内径×行程(mm)	81.0×96.7
	圧縮比	13.5
	燃料供給装置形式	電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)
	使用燃料種類/燃料タンク容量(L)	無鉛レギュラーガソリン/48
電動機(モーター)	電動機型式	H4
	電動機種類	交流同期電動機
性能 エンジン	最高出力(kW[PS]/rpm)	107 [145] /6,200
	最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	175 [17.8] /3,500
電動機(モーター)	最高出力(kW[PS]/rpm)	135 [184] /5,000-6,000
	最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	315 [32.1] /0-2,000
	燃料消費率(国土交通省審査値) JC08 km/L	30.0
	燃料消費率(国土交通省審査値) WLTC km/L	22.8
	市街地モード(WLTC-L) km/L	21.2
	郊外モード(WLTC-M) km/L	24.4
	高速道路モード(WLTC-H) km/L	22.6
主要燃費向上対策	ハイブリッドシステム、アトキンソンサイクル、アイドリングストップ装置、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング	
最小回転半径(m)	5.7	
動力用主電池	種類/個数	リチウムイオン電池/72
動力伝達・走行装置	減速比	第一:2.454(電動機駆動) 0.805(内燃機関駆動) 第二:3.421
	ステアリング装置形式	ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)
タイヤ 前・後	235/45R18 94W	
主ブレーキの種類・形式	前	油圧式ベンチレーテッドディスク
	後	油圧式ディスク
サスペンション方式	前	マクファーソン式
	後	マルチリンク式
スタビライザー形式	前・後	トーション・バー式

基礎情報	車両型式	6AA-CV3	
	原動機	型式/総排気量(L)	LFB-H4/1,993
環境性能情報	駆動装置	駆動方式	FF
		変速機	—
	燃料消費率*1	JC08 燃費(km/L)	30.0
		CO ₂ 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	77.4
		参考	2020年度燃費基準+50%達成車
		WLTC 燃費(km/L)*2	22.8
		市街地モード(WLTC-L)	21.2
	郊外モード(WLTC-M)	24.4	
	高速道路モード(WLTC-H)	22.6	
	CO ₂ 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	101.8	
排出ガス	適合規制・認定レベル	平成30年排出ガス基準75%低減	
	試験モード	WLTCモード	
	認定基準値	CO	1.15
	(単位:g/km)	NMHC	0.025
		Nox	0.013
参考	九都県市指定低公害車の基準に適合(平成30年基準)		
適合騒音規制レベル	平成28年騒音規制値:加速走行70dB(A)		
エアコン	種類/GWP値*3	HFC-134a/1430*4	
冷媒	使用量	480g	
車室内VOC	自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)		
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年目標達成(1996年使用量*5の1/10)	
	水銀	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*6)	
	六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)	
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)	
リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	樹脂、ゴム部品に可能な限り全て	
	リサイクルし易い材料*7を使用した部品	アンダーコートなどの内外装部品	
	再生材を使用している部品	バッテリーボックス	
その他	リサイクル可能率	車全体で95%以上*8	
	グリーン購入法適合状況	グリーン購入法適合車	

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。*2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。*3 GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数) *4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。*6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。*7 ガリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。*8 「新車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年自工会)」に基づき算出。※この環境仕様書は2020年2月現在のものです。



「2020年度燃費基準+50%達成車」



「平成30年排出ガス基準75%低減レベル」認定車

■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。■WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。

☆印の車両は、自動車重量税、自動車税の軽減措置が受けられます。(重量税は2021年4月30日までの新車登録が対象。自動車税は2021年3月31日までの新車登録が対象となり、新車登録の翌年度に軽減措置が受けられます。)また、環境性能割が非課税となり、2021年3月31日までの新車登録が対象となります。

■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。■ACCORD、アレルフリー、エコアシスト、Honda SENSING、INTER NAVI SYSTEM、LKAS、PGM-FI、プライムスムース(Prime Smooth)、VSA、VTECは本田技研工業株式会社の商標です。■Bluetooth®は米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。■Apple CarPlay、iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。■iOSは、米国およびその他の国々で登録されたCisco Systems, Inc.の商標です。■"Qi"および"マーク"はワイヤレスパワー Consortium (WPC)の商標です。■VICSは(財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。■プラスマクラスターマークおよびプラスマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の商標です。■ヘルプネット®は株式会社日本緊急通報サービスの登録商標です。■製造事業者: Honda Automobile (Thailand) Co., Ltd. (製造国:タイ王国) ■輸入販売元: 本田技研工業株式会社

寸法イメージ図

単位: mm

